



流木を有効活用 池田ダムで薪の無料配布

池田ダムに流れ着いた流木を有効活用しようと1月25日、独立行政法人水資源機構池田総合管理所による薪の無料配布が行われました。

今回用意された薪は、長さ50センチほどに揃えられ、15立方メートルが用意されました。薪ストーブやお風呂を沸かすのに活用したいと朝早くから来場者が訪れ、先着60名の車に次々と積み込まれていきました。4月下旬には、流木を細かく砕き堆肥用に加工したチップの配布も予定されています。



フルカウンターが5連覇 第16回雪合戦四国大会

第16回雪合戦四国大会が1月25日26日の2日間、いやしの温泉郷グラウンドで行われました。今年は暖冬の影響で雪が積もらず、雪球の代わりにゴム球となりましたが、県内外から計37チーム約350人が熱戦を繰り広げました。

大会は、全国大会を目指す四国リーグのほか、中学生以上のエンジョイリーグと小学生のジュニアリーグで熱戦を展開。四国リーグでは西祖谷のフルカウンターが5連覇を達成し、群馬県で行われる全国大会の出場権を手に入れました。



介護食の知識を深めよう やさしい在宅介護食教室

在宅介護への知識を深めてもらうと1月23日、ヘルスメイト三好主催のやさしい在宅介護食教室が三好市保健センターで開催されました。講師からは、咀嚼や嚥下機能が低下し、食べ物をうまく飲み込めない高齢者に対して、刻み食や嚥下食など食べやすくする工夫や食材別の調理のコツについて紹介。その後、調理実習も行われ、煮豆腐くずあんかけやおろし和えなど5品の料理を完成させ、美味しくいただきました。



中学生選手が活躍 8位入賞 第66回徳島駅伝



新春の阿波路を駆け抜ける第66回徳島駅伝が1月4日から3日間にわたり開催され、県内16郡市のランナーが健脚を競い合いました。昨年の7位以上を目標に掲げスタートした初日、中学生3区間を制し7位と大健闘。2日目、3日目は地元を走るコースに多くの人が応援に訪れ、沿道からの暖かい声援を力に選手たちは力走しました。初出場の中学生が対象の新人賞に三野中学校の佐賀匠さんが選ばれました。佐賀さんは、6区で区間賞、19区で3位と好走し、チームに貢献。また、中学生たちの活躍が光り、中学生総合2位という好成績を取っています。来年、第67回大会ではさらに上を目指して選手らは、練習に励みます。



100才おめでとうございます



池内 一美さん (池田町イケミナミ)

1月29日、池内一美さんが100歳を迎えられ、県や市から祝い状や記念品が贈られました。

一美さんは、24歳の時に結婚し、家具製造会社を営みながら3男2女を育てられました。88歳で仕事を引退した後は、妻と旅行などを楽しまれたそうです。現在は市内の特別養護老人ホームに入所されていますが、この日は、大勢の方に祝福され、子や孫、ひ孫からプレゼントを贈られると「涙が出るなあ」と喜ばれました。



佐古 サダエさん (池田町白地)

1月13日、佐古サダエさんが100歳を迎えられ、県や市から祝い状や記念品が贈られました。

サダエさんは、19歳の時に結婚し、ご主人とシイタケや葉タバコ、梅を栽培しながら、3人の子どもの育てられました。裁縫が得意で、子どもさんによく浴衣などを縫っていたそうです。現在は次男夫婦と3人暮らしで、この日は、子や孫、ひ孫など大勢の方々に祝福され、「ありがとう」と言っておられました。



知力と脚力で障害を攻略 阿波シクロクロス大会を開催

阿波シクロクロス大会が1月26日、三野健康防災公園で開催され、県内はもとより四国や関西、関東の自転車愛好家194名が参加しました。シクロクロスとは、砂地や段差などが設置されたコースで周回数を競う自転車の障害物レースで、参加者は自転車を担いだりしてコースを攻略しました。

三好市での開催が3回目となるこの日は、前日の雨によりコース内は水たまりがあちこちにでき、選手は泥まみれになりながらゴールを目指して走りました。



防災への決意を新たに 三好市消防団出初式

三好市消防団出初式が1月12日に池田総合体育館で開催され、市内54分団764人が参加しました。

式典では、市長の式辞をはじめ、宮成連合消防団長が「日ごろの訓練や資機材の点検、火災予防活動に精励してほしい」と訓示。その後、表彰授与などが行われ、最後には火の用心を三唱し、消防団員らは防火防災活動への誓いを新たにしました。また体育館駐車場では、一斉放水や池田町消防団第1分団によるたる回しが披露され、見物客から盛んな拍手が送られました。



1年の商売繁盛を願う 福求めえびす祭りにぎわう

商売繁盛や地域の繁栄を願う恒例のえびす祭りが、1月10日に池田町中町のえびす神社で行われ、福を求めた多くの参拝客が訪れました。

神社近くの販売所では、巫女の衣装をまとった福娘が、鯛や俵など縁起物の飾りがついた福笹や熊手を販売し、商店主など多くの参拝客が次々と買い求めていました。天候にも恵まれたこの日はその他にも買い物をした方を対象にした福引や約1万個の福もち投げ、温かいぜんざいのお接待も行われ、神社周辺は参拝者の笑顔があふれました。